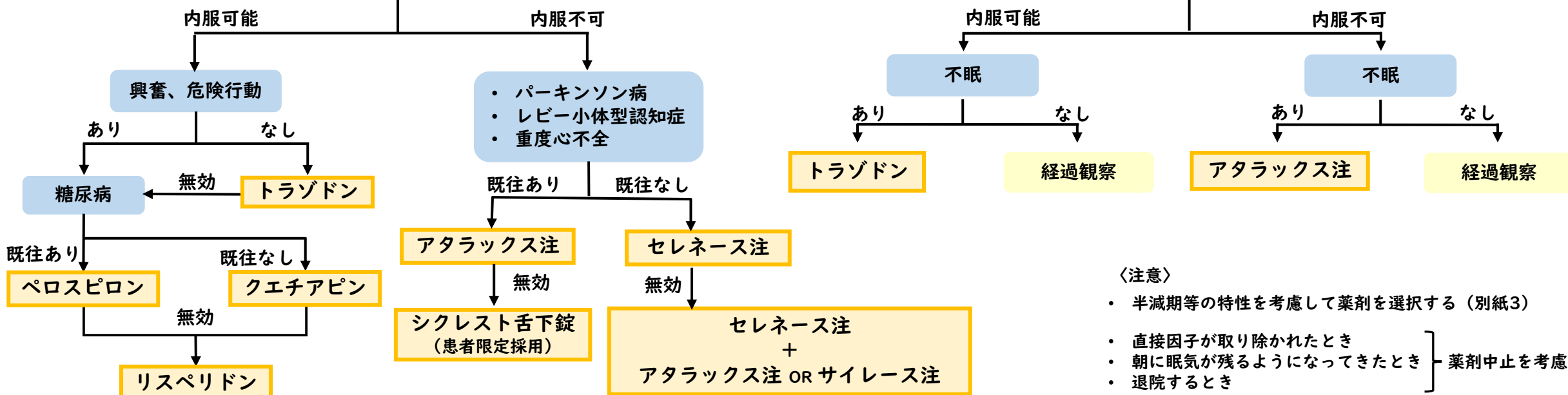
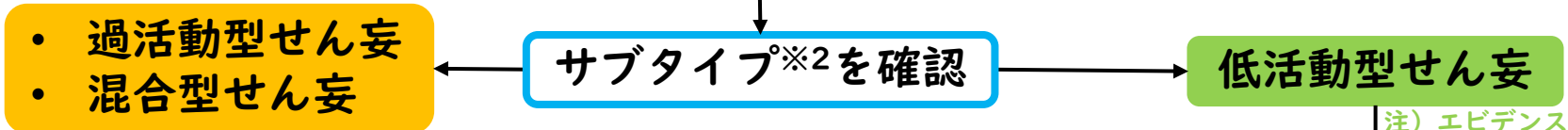
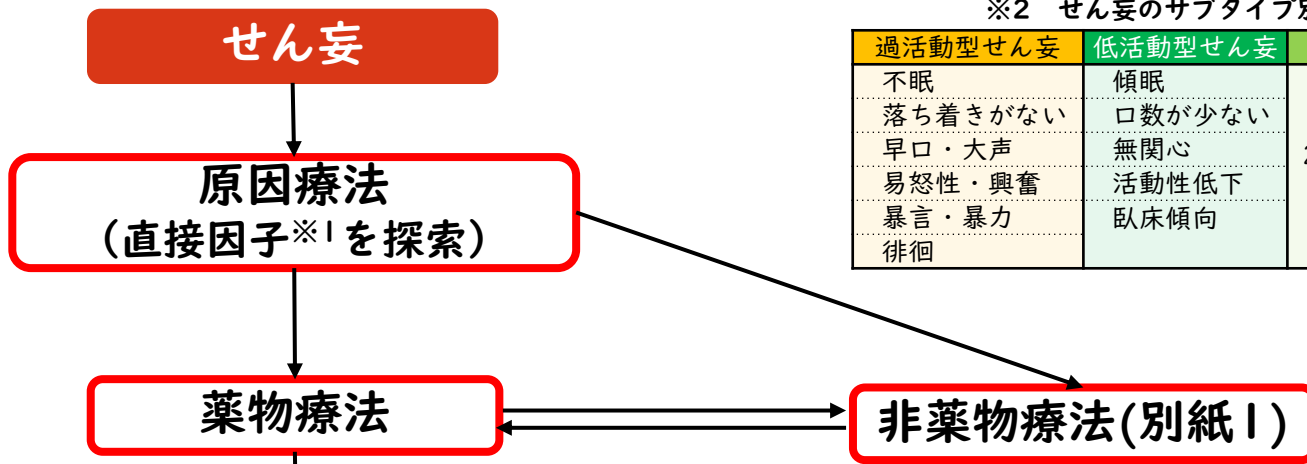


※1 せん妄の直接因子
身体疾患 (脳血管疾患、感染症、代謝性疾患、重度外傷、悪性腫瘍など)
薬剤 (別紙2)
手術
アルコール離脱
その他、特に注意すべき因子 ・電解質異常 (低Na、高Ca、低Mg血症など) ・ビタミンB1欠乏 ・高アンモニア血症 ・自己免疫性脳炎・脳症 (傍腫瘍性神経症候群や橋本脳症など)

※2 せん妄のサブタイプ別の症状

過活動型せん妄	低活動型せん妄	混合型せん妄
不眠	傾眠	24時間に両者の症状
落ち着きがない	口数が少ない	
早口・大声	無関心	
易怒性・興奮	活動性低下	
暴言・暴力	臥床傾向	
徘徊		



〈注意〉

- 半減期等の特性を考慮して薬剤を選択する (別紙3)
- 直接因子が取り除かれたとき
- 朝に眠気が残るようになってきたとき
- 退院するとき

薬剤中止を考慮

## 急性発症・日内変動を考慮した対応

- ご家族に対して、患者の様子の変化に気づいたら教えてもらうよう入院時などにあらかじめ伝えておく
- 診察や処置、重要な話し合いなどは可能な限り**日中に行う**  
例) 夜の静脈注射の使用に備え、日中にライン確保を行う
- 夜間に症状が強くなる場合が多いため、**夕方以降の評価が重要**となる

## 記憶障害/見当識障害/視空間認知障害 /幻覚を考慮した対応

- 患者に伝えたいことはなるべく紙に書いて渡す
- 日にちがわからなくなるため**カレンダーを設置**する  
例) 患者がよく見えるところに置く、  
今日が何月何日かわかるようにする、  
予定を書き込んでおく、  
医療者がベッドサイドに行った際は一緒に日にちを確認する
- 部屋を間違えないように**入り口に目印**となるものを置く
- 積極的に幻覚の有無を確認し患者の感情面にチャンネルを合わせ、声掛けをおこなう  
例) 「不安になりますよね。でも、そばにいますので安心して下さいね。」  
などの声掛け

## 睡眠・覚醒リズム障害を考慮した対応

- **睡眠・覚醒リズムを立て直すこと**をケアの目標にする  
例) 朝から日光を採り込んで部屋を明るくし、夜間の照明はうす暗くする
- 日中の覚醒度が上がるように環境を整える  
例) テレビやラジオをつける  
ベッドを窓際にして日中の採光を心がける
- **かかわり方を工夫**する  
例) 頻回の声掛けやリハビリテーションの導入など

## 感情の障害を考慮した対応

- **冷静に話を聴く**  
例) 受け身で話をしっかり聴く  
患者さんの名前を呼ぶ  
タッチングが逆に刺激になることがあるので身体に触れない
- 言葉遣いなどに十分気を配りながら**怒っている理由**を探り、**着地点**を考える

## 意識障害・注意障害を考慮した対応

- **静かな環境で話す**  
例) 話すときはTVやラジオを切る  
話す際は患者の視界に多くの人がいないように気を付ける
- できるだけ**短い言葉**で具体的に話す

## 別紙2：せん妄の直接因子となる薬剤一覧

薬効分類 ①：催眠鎮静剤 ②：抗不安薬 ③：抗パーキンソン薬 ④：精神神経用剤 ⑤：アレルギー用薬 ⑥：消化器官用薬 ⑦：排尿障害治療薬

一般名	先発品名	分類	薬効
d-クロルフェニラミン	ポララミン	抗ヒスタミン薬	⑤
アゼラスチン	アゼブチン	抗ヒスタミン薬	⑤
アミトリプチリン	トリプタノール	三環系抗うつ薬	④
アモキサピン	アモキサン	三環系抗うつ薬	④
アリメマジン	アリメジン	抗ヒスタミン薬	⑤
アルプラゾラム	コンスタン	BZ系	①、②
イミダフェナシン	ウリトス	抗コリン薬	⑦
イミプラミン	トフラニール	三環系抗うつ薬	④
エスタゾラム	ユーロジン	BZ系	①、②
エチゾラム	デパス	BZ系	④
エバスチン	エバステル	抗ヒスタミン薬	⑤
エピナスチン	アレジオン	抗ヒスタミン薬	⑤
エメダスチン	レミカット	抗ヒスタミン薬	⑤
オキサゾラム	セレナール	BZ系	①、②
オキサトミド	セルテクト	抗ヒスタミン薬	⑤
オキシブチニン	ポラキス	抗コリン薬	⑫
オロパタジン	アレロック	抗ヒスタミン薬	⑤
クアゼパム	ドラール	BZ系	①、②
クロキサゾラム	セパゾン	BZ系	①、②
クロチアゼパム	リーゼ	BZ系	④
クロミプラミン	アナフラニール	三環系抗うつ薬	④
クロラゼブ酸ニカルウム	メンドン	BZ系	①、②
クロルジアゼポキシド	コントロール	BZ系	①、②
クロルフェニラミン	クロダミン	抗ヒスタミン薬	⑤
ケトチフェン	ザジテン	抗ヒスタミン薬	⑤
ケトチフェン	ザジテン	抗ヒスタミン薬	⑤
ジアゼパム	セルシン	BZ系	①、②
シクリジン	シクリジン	抗ヒスタミン薬	⑤
ジフェンヒドラミン	レスタミンコーワ	抗ヒスタミン薬	⑤
シプロヘプタジン	ペリアクチン	抗ヒスタミン薬	⑤
シメチジン	タガメット	H2ブロッカー	⑥
セチリジン	ジルテック	抗ヒスタミン薬	⑤
ソリフェナシン	ベシケア	抗コリン薬	⑦
デスロラタジン	デザレックス	抗ヒスタミン薬	⑤
ドスレピン	プロチアデン	三環系抗うつ薬	④
トリアゾラム	ハルシオン	BZ系	①、②
トリヘキシフェニジル	アーテン	抗コリン薬	③

一般名	先発品名	分類	薬効
トリミプラミン	スルモンチール	三環系抗うつ薬	④
トルテロジン	デトルシトール	抗コリン薬	⑦
ニザチジン	アシノン	H2ブロッカー	⑥
ニトラゼパム	ネルボン	BZ系	①、②
ノルトリプチリン	ノリトレン	三環系抗うつ薬	④
ハロキサゾラム	ソメリン	BZ系	①、②
ビペリデン	アキネトン	抗コリン薬	③
ピラスチン	ピラノア	抗ヒスタミン薬	⑤
ファモチジン	ガスター	H2ブロッカー	⑥
フェキソフェナジン	アレグラ	抗ヒスタミン薬	⑤
フェキソフェナジン+エフェド	ディレグラ	抗ヒスタミン薬	⑤
フェソテロジン	トビエース	抗コリン薬	⑦
フルジアゼパム	エリスパン	BZ系	①、②
フルタゾラム	コレミナール	BZ系	①、②
フルトプラゼパム	レスタス	BZ系	①、②
フルニトラゼパム	サイレース	BZ系	①、②
フルラゼパム	ダルメート	BZ系	①、②
プロチゾラム	レンドルミン	BZ系	①、②
プロピベリン	バップフォー	抗コリン薬	⑦
プロマゼパム	レキソタン	BZ系	①、②
プロマゼパム	レキソタン	BZ系	①、②
プロメタジン	ヒベルナ、ピレチア	抗ヒスタミン薬	⑤
ベポタスチン	タリオン	抗ヒスタミン薬	⑤
メキサゾラム	メレックス	BZ系	①、②
メキタジン	ゼスラン	抗ヒスタミン薬	⑤
ラニチジン	ザンタック	H2ブロッカー	⑥
ラフチジン	プロテカジン	H2ブロッカー	⑥
リルマザホン	リスミー	BZ系	①、②
ルパタジン	ルパフィン	抗ヒスタミン薬	⑤
レボセチリジン	ザイザル	抗ヒスタミン薬	⑤
ロキサチジン	アルタット	H2ブロッカー	⑥
ロキサチジン	アルタット	H2ブロッカー	⑥
ロフェプラミン	アンプリット	三環系抗うつ薬	④
ロラゼパム	ワイバックス	BZ系	①、②
ロラタジン	クラリチン	抗ヒスタミン薬	⑤
ロルメタゼパム	エバミール	BZ系	①、②

# 別紙3：せん妄治療薬 薬価一覧表

	薬効分類	薬品名	半減期(±1/2)	投与の目安	薬価	鎮静作用	抗幻覚妄想作用	備考
内服薬	鎮静系 抗うつ薬	トラゾドン錠25mg「アメル」	6.16±1.26hr	25～150mg	5.9円	○～△	×	
		テトラミド錠10mg	18.2±1.3hr	10～60mg	11.3円	○～△	×	
	非定型抗精神病薬	クエチアピン錠25mg「明治」	4.0±3.0hr	25～150mg	10.1円	◎	△	糖尿病患者の患者、糖尿病の既往歴のある患者に禁忌
		リスベリドンOD錠1mg「トーワ」	3.67±1.80hr	0.5～3mg	10.1円	○～△	◎	Ccr<60では少量(1回0.5mg)から投与
		ペロスピロン塩酸塩錠4mg	α相：1～3hr β相：5～8hr	4～28mg	6.3円	△	◎	重度腎機能障害がある患者へ使用可能
		オランザピン錠5mg「明治」	28.5±6.1hr	2.5～10mg	21.1円	◎	◎	糖尿病患者の患者、糖尿病の既往歴のある患者に禁忌
		シクレスト舌下錠5mg(患者限定採用)	17.1±6.1hr	5～20mg	227.6円	○	◎	舌下投与後10分間は飲食を避ける
		ロナセン錠4mg	10.70±9.4hr	4～12mg	96.8円	×	◎	CYP3A4を強く阻害する薬剤と併用禁忌
	定型抗精神病薬	エビリファイ錠6mg	61.03±19.59hr	3～12mg	85.4円	×	◎	糖尿病患者の患者・糖尿病の既往歴のある患者は、有益性が上回ると判断された場合のみ
		チアプリド錠25mg「サワイ」	4.9±0.7hr	25～150mg	7.9円	△	△	
	漢方薬	ウインタミン細粒(10%)	30.5hr	12.5～150mg	6.5円	◎	○～△	
	気分安定薬	ツムラ抑肝散		2.5～7.5g	10.7円	△	×	低カリウム血症に注意
バルプロ酸Naシロップ5%「フジナガ」		13.8±2.4hr		6.8円				
セレニカR顆粒40% デパケンR錠200mg		7.5±2.1hr 12.18±4.03hr	200～600mg	29.1円 11.9円	◎～○	×	カルバペネム系抗生物質を投与中の患者に禁忌	
中枢神経系用薬	ラメルテオン錠8mg「武田テバ」	1.14±0.39hr(食後)	8mg	26.5円				
注射薬	定型抗精神病薬	セレネース注5mg	α相：0.19±0.1hr β相：14.1±3.2hr	1.25～15mg(1/4～3A)	91.0円	○～△	◎	パーキンソン病、レビー小体型認知症、重度心不全の患者に禁忌
	ベンゾジアゼピン受容体作動薬	サイレース静注2mg	π相：8min α相：2hr β相：24hr	0.5～4mg(1/4～2A)	134.0円	◎	×	急性閉塞隅角緑内障、重症筋無力症の患者に禁忌
	抗ヒスタミン薬	アタラックス-P注射液25mg	7.4±3.0hr	25～100mg(1～4A)	57.0円	○～△	×	
貼付剤	非定型抗精神病薬	ロナセンテープ20mg(非採用)	24hr	20～80mg	248.7円	×	◎	効果発現に日数がかかる、CYP3A4を強く阻害する薬剤と併用禁忌
座薬	ベンゾジアゼピン受容体作動薬	ダイアアップ坐剤10	32.8hr	4～10mg	70.3円			急性閉塞隅角緑内障、重症筋無力症の患者に禁忌
		ブロマゼパム坐剤3mg「サンド」		0.5～1個	79.5円			

〈注意〉

- ・ 定期薬を開始する際、まずは夕食後を検討する
- ・ 少量から開始し、必ず十分量まで増量したうえで効果判定する

せん妄診療実践マニュアル改訂新版 著 井上真一郎 2022年10月15日

せん妄の臨床指針「せん妄の治療指針 第2版」 発行者 石澤雄司 2017年8月21日

Cole MG et al (1994) Systematic intervention for elderly inpatients with delirium: A randomized trial. CMAJ 151(7):965-70

Cole MG et al (2002) Systematic detection and multidisciplinary care of delirium in older medical inpatients: A randomized trial. CMAJ 167(7):753-9

Marcantonio ER et al (2010) Randomized trial of a delirium abatement program for postacute skilled nursing facilities. J Am Geriatr Soc 58(6):1019-26

Hatta K et al (2014) Antipsychotics for delirium in the general hospital setting in consecutive 2,453 inpatients: A prospective observational study. Int J Geriatr Psychiatry 29:253-62

Heymann A et al (2010) Delayed treatment of delirium increases mortality rate in intensive care unit patients. J Int Med Res 38:1584-95

厚生労働省(2011)平成23年9月28日厚生労働省保険局医療課長通知(保医発0928第1号)

せん妄診療エッセンシャルガイド

がん患者におけるせん妄ガイドライン(2022年版)編集 日本サイコオンコロジー学会、日本がんサポーターブケア学会

がん患者におけるせん妄ガイドライン2022、臨床疑問4 がん患者のせん妄には、どのような原因(身体的要因・薬剤要因)があるか?

がん患者におけるせん妄ガイドライン2022、臨床疑問5 せん妄を有するがん患者に対してせん妄の症状軽減を目的として、抗精神病薬を投与することは推奨されるか?

がん患者におけるせん妄ガイドライン2022、臨床疑問6 せん妄を有するがん患者に対してせん妄の症状軽減を目的として、トラゾドンを単独で投与することは推奨されるか?

がん患者におけるせん妄ガイドライン2022、臨床疑問7 せん妄を有するがん患者に対してせん妄の症状軽減を目的として、ヒドロキシジン単独で投与することは推奨されるか?

がん患者におけるせん妄ガイドライン2022、臨床疑問8 せん妄を有するがん患者に対してせん妄の症状軽減を目的として、ベンゾジアゼピン系薬を単独で投与することは推奨されるか?

がん患者におけるせん妄ガイドライン2022、臨床疑問10 せん妄を有するがん患者に対してせん妄の症状軽減を目的として推奨される非薬物療法にはどのようなものがあるか?

Meagher D, et al. A new data-based motor subtype schema for delirium. J Neuropsychiatry Clin Neurosci 2008;20: 185-93

高齢者の安全な薬物療法ガイドライン

Devlin JW, Roberts RJ, Fong JJ, et al. Efficacy and safety of quetiapine in critically ill patients with delirium: a prospective, multicenter, randomized, double-blind, placebo-controlled pilot study. Crit Care Med 2010; 38: 419-27

Tahir TA, Eeles E, Karapareddy V, et al. A randomized controlled trial of quetiapine versus placebo in the treatment of delirium J Psychosom Res 2010; 69 485-90

緩和ケアポケットマニュアル改訂2版南山堂

腎機能別薬剤投与量POCKET BOOK 第4版 編集 日本腎臓病薬物療法学会

日本ジェネリック株式会社:トラゾドン塩酸塩錠25mg/50mg「アメル」インタビューフォーム2021年4月改訂(第2版)

第一三共株式会社:テトラミド錠10mg/30mgインタビューフォーム2022年11月改訂(第15版)

Meiji Seika ファルマ株式会社:クエチアピン錠12.5mg/25mg/50mg/100mg/200mg「明治」インタビューフォーム2023年4月改訂(第17版)

東和薬品株式会社:リスペリドンOD錠0.5mg/1mg/2mg/3mg「トーワ」インタビューフォーム2023年4月改訂(第27版)

住友ファーマ株式会社:ルーラン錠4mg/8mg/16mgインタビューフォーム2023年11月改訂(第25版)

Meiji Seika ファルマ株式会社:オランザピン錠2.5mg/5mg/10mg「明治」インタビューフォーム2021年4月改訂(第10版)

Meiji Seika ファルマ株式会社:シクレスト舌下錠5mg/10mgインタビューフォーム2021年10月改訂(第7版)

住友ファーマ株式会社:ロナセン錠2mg/4mg/8mgインタビューフォーム2023年11月改訂(第25版)

大塚製薬株式会社:エビリファイ錠1mg/3mg/6mg/12mgインタビューフォーム2023年10月改訂(第28版)

沢井製薬株式会社:チアプリド錠25mg/50mg「サワイ」インタビューフォーム2020年4月改訂(第10版)

共和薬品工業株式会社:ウインタミン細粒(10%)インタビューフォーム2023年10月改訂(第22版)

株式会社ツムラ:ツムラ抑肝散エキス顆粒(医療用)インタビューフォーム2020年11月改訂(第10版)

第一三共株式会社:バルプロ酸Naシロップ5%「フジナガ」インタビューフォーム2021年1月改訂(第17版)

共和キリン株式会社:デパケンR錠100mg/200mgインタビューフォーム2024年1月改訂(第5版)

武田テバファーマ株式会社:ラメルテオン錠8mg「武田テバ」インタビューフォーム2022年12月改訂(第3版)

住友ファーマ株式会社:セレネース注5mgインタビューフォーム2023年10月改訂(第28版)

エーザイ株式会社:サイレース静注2mgインタビューフォーム2019年8月改訂(第8版)

ファイザー株式会社:アタラックス-P注射液25mg/50mgインタビューフォーム2022年12月改訂(第10版)

住友ファーマ株式会社:ロナセンテープ20mg/30mg/40mgインタビューフォーム2023年11月改訂(第13版)

高田製薬株式会社:ダイアップ坐剤4/6/10mgインタビューフォーム2019年7月改訂(第7版)

サンド株式会社:セニラン坐剤3mgインタビューフォーム2017年10月改訂(第11版)